

Title	語文 第36輯 編集後記/投稿規定/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 36
Issue Date	1979-10-05
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68663
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

編集後記

▽ 巻頭筆者は、本学関係者はかりでなく、わが国の学界一般にもおなじみが少ないので、紹介させていただく。

Dr. Christopher SEELEY は、現在ニュージーランドのクライストチャーチにある名門カンタベリー大学アジア言語学部 (Dept. of Asian Languages) 助教授。ロンドン大学の修士課程院生時代に、同大学のC・J・ダン教授および当時同校講師として滞英中だった本学出身の松平進助教授の紹介によって、本学の池上順造教授とわたくしのところへ留学し、留学中に博士課程にすすみ、帰国後、母校に論文を提出して Ph. D. をあたえられた。とおくロンドンから献辞とともに博士論文の副本コピーが送られて来たのは一九七六(昭和五一)年二月のことであった。標題は、"The Waji Shōran-shō of Keichū and Its Position in Historical Kana Usage Studies"。今回の論文はその主要な一部分を寄稿願ったものである。一九七七(昭和五二)年一月、カンタベリー大学に赴任、翌七八年十二月から七九年七月までロンドン大学助教授、最近ふたびカンタベリー大学に赴任された。同大学には、かつて馬淵和夫教授のもとに学んだR・A・ラング教授もおられる。同大学およびニュージーランドの日本語研究・日本語教育の発展が期待される。

▽ 他の力作三論文とともに国語学の小集であるが、来年も同様の一冊を期している。ふるって労作を寄せていただきたい。

▽ 『手繰舟』はあと一回で完結する。

一九七九・九

(宮地 裕)

投稿規定

○直接購読者は投稿することができ。

○原稿の内容は国語・国文学、国語教育に関するものであること。分量は四百字詰原稿用紙三十枚以内とする。

○原稿の送り先は「**〒五六〇 豊中市待兼山町一**大阪大学文学部国文学研究室内、語文編輯委員」宛。

○原稿の採否は編輯委員に一任のこと。

○採用しなかった原稿は返送料が添付してあれば返送に応ずる。

○一括購読者が投稿する際には代表者から紹介せられたい。

◆雑誌の寄贈・交換・購読について

○雑誌の寄贈・交換・購読は**〒五六〇 豊中市待兼山町一** 大阪大学文学部国文学研究室宛に願いたい。

(振替 大阪四三三二〇)
電話 〇六(六四)二二五一

ISSN 0387-4494

¥ 600

発行所 〒542 大阪市南区横堀 7 丁目19 文 進 堂 振替大阪112730番 電話(06)(251)1990番
編輯者 〒560 大阪府豊中市待兼山町 1 大阪大学文学部国文学研究室 代 表 田 中 裕